

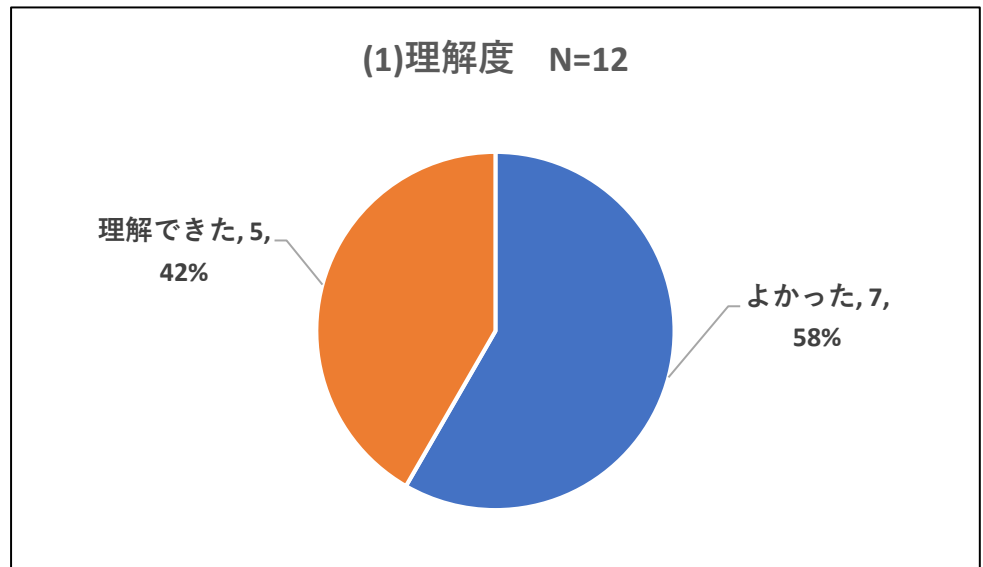
令和5年度 オレンジリボンキャンペーン第1回講座アンケート結果

令和6年3月2日

参加予定者	出席数	アンケート回収数	回答率(%)
17	13	12	92.3

(1)本日の講座内容について、理解できましたか。※いずれか一つに○

よかった	理解できた	どちらともいえない	どちらかという理解できなかった	理解できなかった	合計
7	5	0	0	0	12



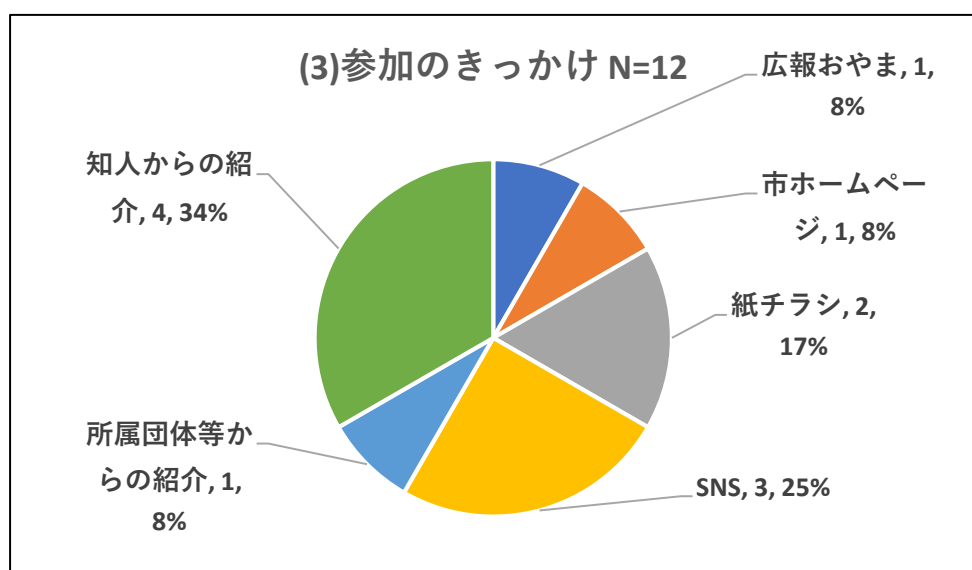
(2) (1)選択の理由

事例もありとても分かりやすかった。

- ・理解はできた。母親（子育て中の親）として聞いた時には辛さや孤独感を感じた。
- ・講演内容がわかりやすかった。グループワークで市職員のサポートがあり良かった。
- ・児童虐待の現状等（小山市の事例を交えながら）理解することができた。他、「ささいなこと」が虐待に認定されかねない、1枚の写真に多様な背景を類推しなければならないというところに児童虐待の問題の広さや根深さを感じた。
- ・カンガルーOYAMAの久保さんの話も県南児童相談所の話も現実的な話が伝わった。また、グループワークも意見交換ができて気づかない問題も分かった。
- ・ワークを通して理解を深めることができた。カンガルーOYAMAの方や県南児童相談所の話が分かりやすかった。知らないことばかりでとても勉強になった。
- ・改めて「虐待とは」という細かい内容まで理解できた。「虐待」の背景まで考えさせられる内容でとても勉強になった。
- ・最初は、オレンジリボン、虐待に関する知識を講座で学んでからグループワークに入ったので、講座で学んだことをより落とし込めたと感じた。また、他者の意見を聞くことで多方面からの見方ができ、より学んだことがつながっていると感じ取れた。
- ・オレンジリボン、虐待についてよく知らなかったため理解が深まった。ワークをすることでいろいろな方の意見が聞けて視野が広がった。
- ・丁寧な説明だった。

(3)本講座の情報はこちらでお知りになりましたか。※いずれか一つに○

広報おやま	市ホームページ	紙チラシ	ポスター	SNS	所属団体等からの紹介	知人からの紹介	その他	合計
1	1	2	0	3	1	4	0	12



(4)講座への意見・要望

虐待を単純に悪いものだけ決めつけるのではなく、ワークを通して様々な意見を交換することで見えてくる親の背景がわかり、支援の面でもよく話を聞いて寄り添い、よりよい提案をすることが大切であると感じた。

可能であれば、小山事件の背景（参考にしたもの）も聞けると良いと思った。内容で難しいところもあった。児童虐待防止は大切であるため機会があれば継続して参加したい。

グループワークの時間が短かった。もっと意見交換や他の方の話を聞きたかった。

とても勉強になった。虐待防止として何ができるか考えるよい機会となった。